

## 令和6年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立加太幼稚園

教育目標 やさしさとたくましさをもつ加太っ子を育てる

| ゆめ           | 重点目標                           | 具体的取組                  |             | 取組の状況                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|--------------------------------|------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主体的に遊ぶ子供を育てる | 子供の思いを大切に<br>した環境構成や援助を<br>考える | 豊かな環境を通して              | 豊かな経験       | ・普段の遊びの中で、子供たちが発見したり、試行錯誤をしたり様々な体験ができるように、園舎内外を見直し、環境の再構築を繰り返してきた。じっくりと遊びを楽しむことで、達成感や充実感を味わうことができるように、日々職員で連携をとりながらすすめてきた。                                                                                                              |
|              |                                |                        | 自然環境の充実     | ・園庭の木々の伐採や剪定、雑草の草抜きなど園庭整備を進めた。子供たちの活動できるスペースが広がり、陽もたくさん入るようになり、四季折々の変化にも気付きやすくなった。遊びに活用できる花をプランターに植えたり、四季を通じての野菜栽培に取り組んだりすることで、触れたり、香りを嗅いだり、食したり、豊かな体験ができるようにしてきた。                                                                      |
|              |                                | 人との<br>かかわりを<br>通して    | 豊かな心        | ・一人一人の子供の実態に応じた細やかな援助をするため、子供の遊びの様子や育ち、困り感などを丁寧に見取り、職員間で共有し子供理解に努めてきた。一人一人が安心感をもって、楽しく園生活を送れるよう取り組んでいる。                                                                                                                                 |
|              |                                |                        | 異年齢児との交流    | ・全園児10人と少人数であるため、活動する保育室を一つにして、互いに関わりをもてるようにし、学年にとらわれず、みんなで遊ぶ姿が見られる。互いに刺激し合いながら過ごしており、年下の友達に優しく言葉をかけたり、年上の友達に誘ってもらい一緒に遊びを楽しんだりしている。                                                                                                     |
|              |                                | 保護者や<br>地域との<br>連携を通して | 小学校・中学校との連携 | ・加太っ子スポーツ祭・文化祭といった合同の行事の際の交流だけでなく、年間を通して、小学校の各学年の担任と打ち合わせを行い、交流の機会を多くもってきた。小学校の大休憩には、自由に小学生が幼稚園に来て一緒に遊んでおり、身近な存在となっている。<br>・今年度から中学校の職業体験学習(加太中・西脇中)の受け入れに加えて、加太中学校3年生の家庭科の授業の一貫として、交流を行った。互いを身近な存在と感ずることができた。                          |
|              |                                |                        | 保護者との連携     | ・各学期ごとに年間3回の個人懇談を実施し、子供の興味・関心や遊びの様子、友達との関わり、また一人一人の発達段階に応じた課題などについて伝えるとともに、家庭での様子も聞き取り、情報交換をしながら、よりよい子供の育ちにつなげられるよう取り組んでいる。<br>・保育参観で様々な活動を参観してもらったり、登降園時には丁寧に子供の様子を伝えたりして、成長過程や興味のあることなどを共有している。必要に応じて専門機関と連携し、保護者が安心して子育てできる環境を整えてきた。 |
|              |                                | 保護者や<br>地域との<br>連携を通して | 地域とのかかわり    | ・稚魚放流や魚つかみ、春日神社への初詣、あげパン屋さんへの買い物など、地域の方々の協力を得て、取り組むことができた。子供たちが普段から地域の方々とのかかわりを意識し楽しめるように、折に触れて話をしている。<br>・加太っ子スポーツ祭(運動会)や学習発表会、加太っ子文化祭など、地域の方にも参加していただける行事を通して、幼稚園の子供たちの活動の様子を知ってもらえるよう、取り組んでいる。                                       |

## 保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

・ほとんどの項目が「とてもそう思う」「そう思う」の評価をいただいているが、子供たちの遊びや関わりに関する項目については「そう思う」「あまり思わない」の評価の割合が少し高くなっているため、子供たちの興味・関心に応じた環境構成について、常に職員間で情報交換をしながら、再構築を繰り返していく必要性を改めて感じた。

・小学校との交流や地域との連携の項目では「とてもそう思う」の評価の割合が高く、保護者の方も関心を寄せてくれていると思われる。来年度以降も、子供たちの実態に即した互恵性のある交流と職員間の連携・情報交換を継続していきたい。

## 今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

・小学校と合同の現職教育で、互いの保育・授業を参観し協議会を行い、それぞれの視点から意見を出し合い、学びを深めることができた。来年度以降は一貫教育がスタートするため、より相互理解を深めていくとともに、子供たち同士の交流も互恵性のあるよりよいものにしていきたい。

・園児数の減少をくい止めることが大きな課題である。本園の特色や取り組みを知らせていくために、ホームページの活用や地域に配布する園だよりなども含めて、どのように広報していけばよいのか、検討していきたい。

## 学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

・小規模園の特性をうまく生かしながら、地域や保護者のニーズに答えていけるように、小学校・中学校とともに3校園で工夫した運営が行えるように努力していくことが必要である。

・環境整備が行き届きつつあり、園庭も通りから見え、地域の方々に園の雰囲気や園児の様子がわかってもらえるとともに、また防犯上にもよいと思う。地域の人との交流については、幼稚園の行事などに一緒に参加させてもらえると、もっと親しくなれるように思う。

・少人数で手厚い対応だと思いが、少し過保護の面もあるのでは、と感ずることがある。